

講義名	物流産業論		
科目区分	学科専門 展開		
担当教員	森 隆行		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2 備考

主題と概要

本講義では、物流業の発展と業態革新に注目しつつ、前半では、主として国内物流を担うトラック、鉄道、倉庫等の物流業にスポットを当て、後半では、国際物流を牽引する海運業、空運業、さらには国際物流と国内物流をターミナルにおいて連結する港湾業に論点を移していく。規制緩和、情報化、グローバル化を背景に、物流産業がどのような創意工夫を凝らして、一国の経済発展、さらには個々の製造業、流通業のダイナミックな展開に寄与しているのかを明らかにしていく。宅配便ひとつ取り上げても、陸の宅配、空の宅配、国内ネットワーク、国際ネットワークと乗てしなく行動領域は拡大するとともに、その中で優れた事業戦略をいかに展開するかが問われている。物流産業がオールマイティな総合物流業へと進むダイナミックな変革プロセスを展望する。

到達目標

物流用語の基礎知識の習得。
 物流産業とはどのような産業を指し、どのような企業があるか。またその企業の内容の概略を知る。
 物流産業の、それぞれの業界に関する基礎知識を習得する。

提出課題

講義の中で提示する

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

講義の中でフィードバックする

評価の基準

毎回小テストを実施。小テストの合計点で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

物流に関わる産業とその動向から日本と世界の経済動向を知ってもらいたい。日頃からニュースなどに注意を払うよう心がける。また、国際物流論など他の物流関連の講義も受講してほしい。

教科書
<教科書> 「現代物流の基礎」森隆行著、同文館出版、2018年 第3 森隆行 同文館出版 訂版。

プリント資料及び参考文献

<プリント資料及び参考文献>
 必要に応じてプリント配布

- 授業計画**
1. 「物流産業論」理解のために
 2. 物流の基礎
 3. 道路貨物運送事業の構造変化
 4. トラック産業と宅配便
 5. 鉄道貨物輸送とモーダルシフト政策
 6. 外航海運業概論
 7. 内航海運業
 8. 航空貨物輸送事業
 9. 利用運送事業
 10. 倉庫業と物流センター
 11. 物流産業における規制緩和
 12. 港湾業の競争優位構造
 13. 港湾業の競争優位構造
 14. 総合物流業の展望
 15. 全体まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

その日の講義の復習として講義内容をまとめる（各およそ2.5時間）。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考